令和５年度　揖斐川町役場の温室効果ガス(二酸化炭素)排出量算定結果

揖斐川町役場における令和５年度の温室効果ガス排出量

６，８８５t-CO_2

基準年度２年度と比較して温室効果ガス排出量、２４２．１トン、３．６％の増加となりました。

温室効果ガス排出量

排出源		活動量		二酸化炭素			
		使用量	単位	排出係数 (kg-C02/単位)	排出量(t)		
					５年度	基準(２)年度	増　減
燃料使用量	ガソリン	98,936	L	2.322	229.7	243.5	△13.8
	軽油	90,045	L	2.585	232.8	158.2	74.6
	灯油	413,582	L	2.489	1,029.4	849.0	180.4
	Ａ重油	64,150	L	2.710	173.8	190.4	△16.6
	ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ	92,733	Kg	2.999	278.1	275.4	2.7
	炭	0	Kg	2.328	0	0.0	0.0
電気使用量		11,411,840	KWh	0.433	4,941.3	4,926.6	14.7
温室効果ガスの総排出量					**6,885.2**	**6,643.1**	**242.1**

排出源		二酸化炭素排出量	
		５年度(t)	割合（%）
燃料使用量	ガソリン	229.7	3.3
	軽油	232.8	3.4
	灯油	1,029.4	15.0
	Ａ重油	173.8	2.5
	ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ	278.1	4.0
	炭	0.0	0.0
電気使用量		4,941.3	71.8
温室効果ガスの総排出量		6,885.2	100.0

温室効果ガスの発生源としては、電気が 71.8%を占めています。

本町の事務・事業における温室効果ガス排出量の、部門別の内訳は、以下に示すとおりです。

部門別温室効果ガス排出量

項目	年度	使用量							排出量	増減
		ガソリン（L）	軽油（L）	灯油（L）	A重油（L）	ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ（Kg）	炭（Kg）	電気（KWh）	（t-CO２）	（t-CO２）
庁舎等	5	26,267	658	21,285	4,000	16,439	0	898,858	566.2	△49.5
	2	29,174	1,392	23,631	10,000	18,093	0	937,728	615.7	
交通機関	5	43,581	69,008	0	0	0	0	0	279.6	65.7
	2	53,481	34,720	0	0	0	0	0	213.9	
農林観光施設	5	6,660	1,074	239,713	2,450	31,102	0	2,212,708	1,672.9	83.3
	2	5,113	681	280,815	0	23,818	0	1,869,130	1,589.6	
廃棄物処理施設等	5	0	750	0	0	0	0	7,844	5.3	△14.2
	2	0	4,165	1,182	0	0	0	13,413	19.5	
福祉施設	5	11,766	11,633	13,766	54,000	19,953	0	998,482	730.2	3.2
	2	11,121	13,227	12,298	54,000	23,852	0	970,982	727.0	
病院等	5	8,028	0	14,024	3,700	13,138	0	313,762	238.8	17.0
	2	4,056	0	10,261	6,250	15,394	0	287,178	221.8	
上下水道施設	5	20	0	0	0	0	0	4,139,831	1,792.6	△199.6
	2	0	0	0	0	0	0	4,622,206	1,992.2	
教育機関	5	1,282	6,886	3,794	0	5,015	0	2,011,029	916.0	7.9
	2	1,503	6,960	5,883	0	5,910	0	1,982,082	908.1	
社会教育施設	5	832	36	121,000	0	7,086	0	829,326	683.5	328.2
	2	407	70	7,044	0	4,757	0	747,860	355.3	
合計	5	98,936	90,045	413,582	64,150	92,733	0	11,411,840	6,885.2	242.1
	2	104,855	61,215	341,114	70,250	91,824	0	11,430,579	6,643.1	

※コロナ対策により令和２年度は施設の使用制限があったが、その後の利用条件が緩和により徐々に利用が増加する。

特に交通機関、農林観光施設、社会教育施設の利用頻度が増加し、その結果、軽油（ふれあいバス増便分）、灯油（谷汲さんさんホール使用分）、ＬＰＧ（かすがモリモリ村等使用分）、電気（坂内バイクランドセンターハウス使用分）の使用量が増加した。